

FOREST しず



伊豆市立天城中学校

ツゲ峠植生調査「天城学習」



木の高さはどれくらい？

7月25日(木)に賀茂郡西伊豆町にあるツゲ峠において、伊豆市立天城中学校生徒代表の2年生4名と教員9名による獣害防護柵内植生調査が実施され、天城自然ガイドクラブから2名、伊豆森林管理署から4名が講師として参加しました。

ツゲ峠の獣害防護柵内植生調査は、ツゲ峠でシカによる被害が拡大していることから、被害対策として平成23年10月に天城中学校3年生の生徒や天城自然ガイドクラブにより獣害防護柵が2箇所設置されました。設置後は柵内に調査地A・B、対照区として柵外に調査地Cを設定し、天城中学校2年生により毎年7月頃に植生調査が実施されています。



ガイドクラブによる解説

今回の植生調査は、昨年10月に伊豆森林管理署で実施した植生調査の結果をもとに、柵内にどのような植物が生育しているか説明しながら、実際に植物を観察する形式としました。調査地A・Bそれぞれの柵内ではリョウブやヒメシヤラなどの植物を観察するだけでなく、生徒たちが実際に樹木の高さをポールで測定し、生育状況を確認しました。対照区の調査地Cでは、アセビが大半を占め、植物の種類も少ないことから、獣害防護柵内外で植生が大きく異なっている状態に驚いていました。

調査の中で、天城自然ガイドクラブの講師から「昔のツゲ峠は、柵内のようにツゲやブナなどの様々な植物が生育していたが、シカの増加により、アセビやシキミ等シカにとって毒



柵の外も調査

になる植物以外は食べられてしまい、その結果、アセビが大半を占める状況になってしまった。柵を設置した結果、柵内の植生は回復しているが、今後、獣害防護柵の設置・撤去を含め、対策を考える必要がある。」と話をされました。

調査を終え、生徒からは、「ツゲ峠に設置されている獣害防護柵内の植生が数年後どのようなになっているのか、また見に行きたい。」との声がありました。

今回の植生調査を通じて現地を見ることにより、天城には貴重な自然があることや、現在、ツゲ峠では何が問題になっているのかを知るきっかけになったと思います。今後も獣害防護柵の効果の検証や天城の自然を知る機会として、中学校と協力し、天城学習を継続していきます。

